

教科名		【教科: 音楽(器楽)】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		教育出版	教育芸術社
調査の観点			
A 内 容 に つ い て	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各楽器の演奏する際の姿勢や奏法等について、写真を見て理解できるように工夫している。 練習曲からまとめの曲へ、習得した知識や技能を活用して学びを深められるように配列されている。 練習のポイントを吹き出しのような形で記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各楽器の演奏する際の姿勢や奏法等について、写真を見て理解できるように工夫している。 練習曲、簡単な曲から発展させられるように配列されている。 練習のポイントを明確に記載している。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「何が同じで、何が違う?」というコーナーで3種類の楽器を比較して、違いや特色について話し合い、考えを深める活動ができる。 吹く楽器、弾く楽器、打つ楽器に分類して掲載され、各楽器を比較し、話し合いながらまとめられるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーを演奏するときのポイントをQ&Aの形で載せ、生徒が自分で学習するときの参考にできる。 「深めよう! 音楽」というコーナーが設けられており、学習を深める工夫がある。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 掲載している楽曲は、昔からある名曲のほか、映画の主題歌等、現代の曲も扱い、生徒の興味・関心を引き出せるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 掲載している楽曲は、昔からある名曲の他、映画の主題歌等、現代の曲も扱い、生徒の興味・関心を引き出せるように工夫している。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> 演奏家の言葉を掲載し、国や文化を尊重した編集をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「音楽ってなんだろう?」のページで、様々な民俗の音楽を取り上げる等、ESDや郷土を大切にする視点を持ち、音楽家や文芸評論家の言葉も掲載し、国や文化を尊重した編集をしている。
B 使 用 上 の 便 宜 に つ い て	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> 写真や図を見て、学習を進めることができる。 巻末に「いろいろな用語、記号」が掲載され、速度・強弱・反復記号、階名と音名等、基本的な音楽用語について調べやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や図を見て、学習を進めることができる。 「音楽の約束」を見て、音符・休符・記号・用語について調べることができ、基本的な音楽用語について調べやすい。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「音楽はメッセージ」のページ等、ESDや郷土を大切にする視点を持ち、他者の考え方から学び、考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化の学習として、郷土芸能に関して、和楽器に取り組む中学生の様子などを写真入りで扱うなど、いろいろな視点から学び、自分と郷土との関わりも考えることができる。